

スピーチコンテストを終えて

英語英文学科 3年B組 永佐子奈有・渡部友佳

私たちは一年生のときから、スピーチコンテストスタッフをやってきました。きっかけは、一年生のとき同じ授業をとっている先輩の話を聞いて、楽しそうだと思い、二人で一緒に参加したことです。

一年目は途中から参加したこともあり、先輩方がスピーチコンテストを作るところを見たり、雑用を手伝ったりする程度しかできませんでした。

そんな私たちも、今年はスタッフリーダーとしてスピーチコンテスト運営に携わることになりました。おとし、昨年とスピーチコンテストを担当してくださった先生から仕事を引き継ぎ、スタッフ募集やスピーチコンテスト告知について、数名で話し合い、私たちのスピーチコンテストは始まりました。しかし、何から手を

つければよいのか分からず、実質一からのスタートでした。コンテストの流れを決めたり、出場者のスピーチのタイトルを変更したり、会場がある都度その内容をまとめて提出したり、今後の予定を立てたり、備品を揃えたりと、仕事がとても多く何度もくじけそうになりました。しかし、そんな時も互いに助け合い、励まし合いながら、頑張ってきました。

その甲斐あって、スタッフは徐々に増えていき、それぞれに役割を持ってミーティングをするようになりました。今年は、昨年のスピーチコンテストと違う点が多々あり、(例えば、スピーチが終わったあとの質疑応答を無くす、先生方に講評をしていただいていた時間に劇をするなど)リーダーを任せられた私たちは戸惑うことだらけでした。それでも、何度もミーティン

グを重ね、スタッフの皆と意見を交わし、スピーチコンテストの枠組みを作っていました。そして、本番近くになると、スピーカーの方々と連絡を取り合ったり、セレストホールの会場を借りてリハーサルを始めたりと、一気に忙しくなりました。機具の使い方や舞台設置を考えたりするのはとても大変でしたが、総務課の方が親切に、音響と照明の使い方を教えてく

ださったおかげで、今年初めてスタッフをやるメンバーもすぐに操作できるようになり、スムーズにリハーサルをすることができました。しかし、スタッフの予定がなかなか合わず、全員でのリハーサルは一度も行つことができないまま、不安を抱えて次の日を迎えることになりました。

本番当日、朝早くからスタッフで集まり、最終リハーサルをしました。当日になって、スタッフの動きに多々変更があったのにも関わらず、スタッフ皆が文句ひとつ言わず協力をしてくれました。また、私たちの目の行き届いていない部分、やり残していることがあれば、それに気づいたスタッフが教えてくれ、皆の力によって万全の準備体制を整えることができました。そして迎えた本番、最初は緊張もしていましたが、「全員が楽しむスピーチコンテスト」を目標に、当日はスタッフ一丸となり、目立つミスもなく、スピーカーや先生方、一般の方にも喜んでいただけるスピーチコンテストを作り上げることができたと思います。

今回のスピーチコンテストは、どのスピーチもとても内容が良く、スピーカーのパフォーマンスも素晴らしかったと思います。そして何より、多くの方に来場していただき、「良いコン

テストだったよ」と言ってもらえたことが本当に嬉しかったです。この喜びを感じることができたのは、私たちの拙い進行や指示に付いてきてくれ、協力してくれたスタッフのおかげだと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。今回スタッフリーダーという大役を任せてい



ただ、大変なこともありましたが、とても良い経験ができました。皆で力を合わせて何かをやり遂げた時の達成感を得られただけでなく、コンテストを企画・運営することにより、様々なことを学ばせていただき、自己成長にも繋がったと思います。このスピーチコンテストという行事の中で、社会勉強をすることができました。

このコンテストのために費やした約五ヶ月間、とても忙しく本当に大変でした。しかし、大学生活の中でこんなにも充実した時間を過ごせたこと、そしてこのような素晴らしい機会を与えてくださったことをとても嬉しく思うと同時に、心から感謝申し上げます。

しかしながら、コンテストの成功に甘んじることなく、今年の反省点を来年に活かしていきたいです。皆が楽しめ、学生同士が刺激を受けられるようなスピーチコンテストを目標に、これからも切磋琢磨し、より良いものを作っていきたいと思っています。

次はあなたの番です。学生時代にやりたいことは何ですか？やりたいことはやった者勝ちだと思います。自分で限界を決めてしまわず挑戦してみれば、意外にできることがたくさんあります。現に私たちも、学業・就職活動・スピーチコンテスト・資格取得勉強に励んできました。できるかどうかは、全てあなた次第です。もし何かをやり遂げてみたいという方がいましたら、来年のスピーチコンテストに力を貸して下さい。私たちは皆さんの協力を必要としています。皆さんのご協力お待ちしています。

そして最後に、今年初の試みにも関わらず、協力してくださった橋本侃先生、橋本ゼミの学生の皆さん、参加してくださったスピーカーや来場者の方々、スタッフの皆さん、石黒敏明先生をはじめとする英語英文学科の諸先生方、このような機会を与えてくださった英語英文学科、並びに人文学会に感謝の気持ちを述べたいと思います。本当にありがとうございました。

